

令和3年度
私費外国人留学生選抜試験問題

法 学 科

小 論 文 (RH)
(英文読解を含む)

令和3年2月7日(日)
9時30分～10時50分

注意事項

1. 解答始めの合図があるまで、この冊子を開いてはいけません。
2. この問題冊子は、表紙を除いて3枚あります。ほかに解答用紙2枚、下書用紙3枚が配付されています。
3. 解答にかかる前に、解答用紙の所定欄に受験番号を記入してください。解答用紙に氏名を記入してはいけません。
4. 試験終了後も監督者が許可するまで退室しないでください。
5. 問題冊子及び下書用紙は持ち帰ってください。解答用紙は持ち帰ってはいけません。

『答案作成の注意事項』

1. 書き出しは、一マスあけない。
2. 改行したら、一マスあける。
3. 読点には「,」を使用し、句点には「。」を使用し、それぞれ一マスとする。ただし、行の末尾については文字と同じ一マスに含める。
4. 小さな「っ」「ゃ」「ゅ」「ょ」は一マスで使う。
5. 数字と英字の書き方は、下の例に従い、二文字で一マスを使う。
数字例：123であれば、「12」と「3」で二マス使用。
英字例：abcであれば、「ab」と「c」で二マス使用。

RH

次の英語による文章（文章 I）と日本語による文章（文章 II）を読んで、設問 1～3 に対し、日本語で答えなさい。

【文章 I】

著作物引用のため非公表



注 1 R. Alexander Pyron 氏：ジョージ・ワシントン大学の生物学者

注 2 fungus：真菌

【文章Ⅱ】

著作物引用のため非公表



著作物引用のため非公表

【問題】

設問 1 : 文章 I の下線部①における「This outcome」の内容を文章 I から読み取り、200 字以内の日本語で説明してください。

設問 2 : 文章 II の下線部②において、筆者の考える「多様性の問題で抜け落ちている視点」とは何か。文章 II の文意に即して 200 字以内の日本語で説明してください。

設問 3 : 「生物多様性の保護」に関する上の文章 I、文章 II を踏まえたうえで、生物多様性の保護の必要性の是非について、あなた自身の考えを 500 字以内の日本語で説明してください。

<出典> 出題にあたり、原文に適宜修正を付している。

【文章 I】

Alexandre Antonelli, Gothenburg, Allison Perrigo, Gothenburg, “We must protect biodiversity”, Washington Post, 15 Dec 2017

(*著者らは、Gothenburg Global Biodiversity Centre (スウェーデン) のディレクターとコーディネクター)

【文章 II】

本田達雄『生物多様性「私」から考える進化・遺伝・生態系 (第 3 版)』(中公新書、2018 年)

I ~ IV